

法人の役員改選がされました

# そよかぜだより

社会福祉法人そよかぜの機関紙

第154号

発行2023.7.16  
年4回発行

社会福祉法人そよかぜ  
羽村市栄町3-3-1  
042-578-0855  
fax.042-578-0466

## 法人の役員改選がされました



**理事長**  
**雨倉久行**



**副理事長**  
**川村孝俊**



**理事**  
**宮林眞人**



**理事**  
**笠井宏泰**



**理事**  
**田口尚子**



**理事**  
**根岸徹**



**監事**  
**羽村峰樹**



**監事**  
**中野秀之**

**評議員**  
川津紘順 橋本唯隆 水上京子  
下田忠男 栗原悦男 田村志津子  
小林あや子 飯島直哉  
**評議員選任・解任委員会**  
石田茂 市川康浩 羽村峰樹  
中野秀之 野口晋一

## 就任のご挨拶

社会福祉法人そよかぜ 理事長 雨倉久行

日頃より当法人の運営にあたりましては、利用者をはじめ、ご家族、行政や関係機関等の皆様方から暖かいご支援とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

このたび、加藤照夫前理事長の退任に伴い、令和5年6月29日開催の理事会におきまして、社会福祉法人そよかぜ理事長に就任いたしました、雨倉久行です。

当法人は、地域の障害福祉向上を志に掲げ、先駆的な様々な取り組みを続けた長い歴史があります。理事長の職に就くにあたり、その責務の重さを痛感してい

る次第です。これまで先人の方々が積み上げてきた土台をしっかりと引き継ぎ、時代に即したサービスの提供と法人の更なる発展を図るべく職務にまい進していく所存でございます。

今後とも、地域の関係機関等とも連携を図りながら、利用者の方々やご家族の方々の満足がいいただける支援を目指し、利用者本位のサービス提供に努めたいと考えております。また、地域の障害福祉の拠点となるべく、地域の皆様から信頼される事業所となるよう、役職員が一丸となって取り組んでまいります。引き続きご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げまして、就任のご挨拶とさせていただきます。

社会福祉法人そよかぜ

# 令和4年度 事業実績概要報告

事業実施状況は、年度後半に新型コロナウイルス感染症の第8波の影響により感染者が発生することとなりましたが、初動体制の連携等を図り、感染の広まりを防ぐことが出来たのは幸いでした。

各事業所において、コロナ禍による状況を勘案し、行事の在り方にも創意工夫をしながら、新しい行事のスタイルとして実施することが出来ました。脱コロナに向けた先駆けとなるよう柔軟な事業運営の成果であったと考えます。各事業とも概ね順調に推移することができました。事業毎の実施状況概要は以降にてご報告いたします。

## 社会福祉事業

### 福祉作業所ひばり園(就労移行支援=定員6名)

主たる対象を精神・発達障害としている近隣の就労移行支援事業所へ見学に行き情報収集し、訓練プログラムの見直しや効果的なタイミングについて検討しました。また、訓練ツール購入に向けた情報収集を行いました。

工賃等の事務や、作業関係マニュアル、利用者支援用のマニュアル(事務補助や当番業務の手順やアセスメント視点を記載したもの)を作成・整備しました。



事務補助訓練(案内状封入作業)の様子。

### 福祉作業所ひばり園(就労継続支援B型=定員70名)

車部品の組み立て作業に重点を置きつつ、作業量の減少に備え自主生産の開発に取り組んできました。日々の受注量の変動を想定し、合間で作成が可能な作品を商品化(ミサンガ・アクセサリー)して、リサイクルショップくれよんで販売しました。

車部品の組み立て作業は受注が途切れることはありませんでした。そのため、一人一人の作業能力向上に力を注ぐことができ、安定した工賃をキープすることができました。作業の区切りのタイミングを見て、茶話会などの簡易的なイベントは小まめに開催するようこころがけ、実施しました。

## 令和4年度 社会福祉法人そよかぜ決算額

### 法人全体 事業別収入 264,767,780円

(単位:円)

**福祉作業所ひばり園**  
(本部・就労移行支援・就労継続支援B型・就労定着支援)  
184,400,215

指定特定相談支援事業所ゆい4,648,965→  
羽村市障害者就労支援センターエール22,713,863→  
福祉作業所スマイル工房50,954,132→

資源回収2,050,605→

### 法人全体 事業別支出 253,751,613円

(単位:円)

**福祉作業所ひばり園**  
(本部・就労移行支援・就労継続支援B型・就労定着支援)  
172,873,267

指定特定相談支援事業所ゆい3,453,125→  
羽村市障害者就労支援センターエール24,113,276→  
福祉作業所スマイル工房51,436,646→

資源回収1,875,299→

### 法人全体 事業支出別明細 253,751,613円

(単位:円)

就労支援事業 38,588,749	支払利息支出182,552 →その他の支出740 →設備資金借入金元金償還支出852,000	人件費169,826,709
----------------------	--	----------------

事業費9,643,676→ 事務費20,149,528→ 固定資産取得支出1,986,480→	積立資産支出 12,521,179
---	----------------------

新型コロナウイルスの感染拡大状況を鑑み日帰り旅行は中止としましたが、感染対策に配慮して外出イベントを実施しました。イベントが久しぶりだったこと、個別グループによる外出でしたので、想像以上の満足感が得られたと報告が多数から上がりました。イベント時は、稼働率が向上しました。



外出イベントでは、ランチビュッフェを楽しみました。

#### 福祉作業所ひばり園(就労定着支援=利用登録者6名)

作成した支援レポートを利用者、保護者、企業、関係機関と共有しました。利用期間満了を迎える前に各市の就労支援センターへの引継ぎ時にも活用することができました。事務の負担軽減を目指しフォーマットの見直しや、マニュアル作りにも着手しました。

#### 福祉作業所スマイル工房(就労継続支援B型=定員40名)

日々の活動の中で、作業場面以外の様子も含めた利用者の行動や言動の特性を把握し、職員間で話し合い支援の方向性をすり合わせながら個別対応しました。

原則として毎週1回正規職員ミーティングを行い、各作業現場の状況や課題点をはじめ利用者の状態を共有しま



羽村市の花いっぱい運動での、花苗の植え付け作業を行いました。

した。正規職員以外の全職員にも“共有フォルダー”を活用して周知を図りました。職員の退職による減員もあったため、代替・補完し合える協力体制つくりは課題として残りました。

利用者の通所意欲や作業意欲の向上に取り組むとともに職員の欠員補充を行いました

が、再び欠員が生じました。パン・クッキーの新規販路先を開拓し定例受注先からの受注量も好調だったため売上げ全体は良好でしたが、原材料費の高騰などコスト高の影響は続きました。

#### 指定特定相談支援事業所ゆい(利用契約者数113名)

支援力の向上ならびに関係諸機関との連携強化に努めることが出来ました。また、羽村市障害福祉課ならび羽村市社会福祉協議会での研修を通して、事例検討で取り組み方法など多角的なアプローチ手法など支援力の向上に結びつくことが出来ました。

新入職員の採用が決まり、法人内の各事業での研修を行いました。研修では、利用者の方々を知りたいことに加え、作業や支援の状況なども合わせて研修することが出来ました。今後は、研修で学んだことを基に、利用者の課題等に即した計画作成等で活かしていくよう育成に努めます。

### 公益事業

#### 羽村市障害者就労支援センター エール(利用登録者169名)

外部より講師を招き登録者、関係者向けに生活安全学習会を開催しました。内容はインターネットの危険性について学ぶ会です。センターにも詐欺やSNS関連の相談も増えているので、職員もこのような学習会を通して知識を身に着け、多岐にわたる生活相談にも対応できるような機会としました。

2月に開催された多摩地域就労支援連絡会に参加し、職場定着支援の課題と今後について意見交換を行いました。他市センターでの状況を伺い、改めて就労支援センターとしての在り方を考え、会社が求める支援について知る機会となりました。その後はセンター内でも内容を共有し、今後の定着支援の在り方について検討しました。

### 収益事業

#### 資源回収

法人内の各事業所とも連携し、店舗及び新商品の宣伝としてチラシの配布を通じた広報活動に努めました。

資源回収の新規ボランティアの募集では、コロナ禍の状況もあり、新規ボランティアの受け入れまでは至りませんでした。引き続きボランティアの募集は継続していきます。

## 障害者就労の新たな可能性

近年、日本社会は労働者不足の深刻な問題に直面しています。高齢化や少子化の進行により、労働力の供給が必要に追いつかなくなり、様々な産業で深刻な人手不足が生じています。一方、コロナ禍がもたらした変化は、リモートワークをはじめ、キャッシュレスなど、これまで当たり前だと思われてきた常識が激変しました。福祉分野は、人の手に頼るところが多くあります。高齢者の介護施設などでは、人手不足のあおりで外国人労働者が活躍する事業所も見られるようにな

ってきました。障害者福祉の分野では、利用者の自立支援や就労支援においても、専門的な知識やスキルを持ったスタッフの育成にも相応の時間を要するところもあります。このような状況に直面する中で、障害福祉分野は新たな展望がみられており、例えば、農家の人手不足などから農福連携の試みが挙げられます。労働力不足を解消するためには、障害者雇用の推進や職場環境のバリアフリー化など、障害者が働きやすい環境づくりが求められています。障害者の多様

## コラム「福祉の時をつかむ」

な能力や経験を活かし、彼らが自己実現を果たすことができる社会の実現に向けて、企業や政府、地域社会が協力して取り組む必要があります。

労働者不足による社会の課題は深刻ですが、同時に新たな可能性も秘めています。労働者不足に対する取り組みと障害福祉の発展を結びつけることで、社会全体の包括性や共生の実現に向けた一歩を踏み出すことができるのではないかでしょうか。

そよかぜホームページ <https://soyokaze-hamura.com>

## 各事業所からのお知らせ



### 福祉作業所ひばり園

みなさんは、七夕でどんな願い事をしましたか？願い事を書いた短冊を笹の葉に飾ると、織姫と彦星の力で願いが叶えられたり、悪いものから守ってくれるという言い伝えがあるそうです。ある利用者の方の願い事に、「○○さん好きです」、「長生きしようね」、「いつまでも一緒に働きましょう」と、綴っていました。

今年は、短冊のほかに数年ぶりに七夕ゼリーを作りました。天の川をイメージした、さわやかな色合いの手作りゼリーは絶品でした。みんなの願いが叶いますように。

### リサイクルショップくれよん

7月から新しいメンバーが加わり、利用者は18人になりました。それに伴い曜日メンバーも変更になり、新学期のクラス替えのような緊張感がありつつ、更ににぎやかになったくれよんです。令和5年5月発行の羽村市子育て応援ガイドブック10ページに掲載されております。機会がありましたらご一読ください。暑い夏に欠かせないタンクトップ100円、Tシャツ・帽子200円均一セールを行なっております。是非ご来店ください。併せてご提供品もお待ちしております。ご提供いただける品物についてはホームページまたはスタッフまでお問い合わせください。

●夏季休業8/12(土)～20(日)。



### 福祉作業所スマイル工房

先日、予告なしの防災訓練を行いました。利用者の方たちは慌てることなく冷静に放送を聞き、机の下に身を隠す、次の合図で速やかに避難するその姿に毎回感動しております。夏メニューとして、パン班からはトマトパンと枝豆パンがリニューアル販売開始、Smile Cafeでは、毎年人気のスムージーと新作スcone、チューイックキーが、新たにメニューに加わりました。是非ご賞味下さい。

### 障害者就労支援センター エール

エールは、社会福祉法人そよかぜが羽村市の区市町村障害者就労支援事業の委託を受け、平成20年9月に開設した就労支援センターです。羽村市在住の障害のある方で、一般企業等への就職を希望されている方やすでに働いている方を対象に、就労に関するご相談や支援を行なっています。

利用時間：月曜～金曜日、午前9時～午後5時。各月の第一土曜日は開所。

※ご相談は予約をお願い致します。

## 各事業所の連絡先



## 資源回収のお問合せは「そよかぜ」へ。

社会福祉法人そよかぜ事務局 ☎042-578-0855  
福祉作業所ひばり園 ☎042-555-5512  
福祉作業所スマイル工房 ☎042-578-2723

リサイクルショップくれよん ☎042-578-2575  
羽村市障害者就労支援センター エール ☎042-570-1233  
指定特定相談支援事業所ゆい ☎042-555-5512